

3 - 4 外観から自動車とは考えにくいと
判断された金属片の再確認結果

外観から自動車とは考えにくいと判断された金属片の再確認結果

(個別シート 240 枚)

自動車とは考えにくいと判断された金属片 240 片を以下のように分類して再確認した。

- ア. 金属片の差し込み側が人工的に加工されているように見えるもの
- イ. 破断面が人工的に作られたように滑らかなもの
- ウ. 金属片の厚さが自動車用鋼板と一致しないもの
- エ. 中央分離帯のある道路で継ぎ目に付着しているもの
- オ. その他、現場から特にコメントがあるもの

目次

金属片の 特徴分類	金属片番号	頁	金属片の 特徴分類	金属片番号	頁	金属片の 特徴分類	金属片番号	頁
ア	202	13	ア	425	93	ウ	428	173
ア	203	14	イ	207	94	ウ	440	174
ア	206	15	イ	208	95	エ	201	175
ア	216	16	イ	209	96	エ	210	176
ア	232	17	イ	219	97	エ	212	177
ア	239	18	イ	220	98	エ	213	178
ア	243	19	イ	221	99	エ	214	179
ア	244	20	イ	222	100	エ	215	180
ア	245	21	イ	223	101	エ	217	181
ア	246	22	イ	224	102	エ	218	182
ア	247	23	イ	225	103	エ	236	183
ア	248	24	イ	226	104	エ	237	184
ア	249	25	イ	227	105	エ	238	185
ア	250	26	イ	228	106	エ	242	186
ア	251	27	イ	229	107	エ	258	187
ア	252	28	イ	230	108	エ	259	188
ア	253	29	イ	231	109	エ	263	189
ア	254	30	イ	233	110	エ	264	190
ア	255	31	イ	234	111	エ	267	191
ア	256	32	イ	240	112	エ	269	192
ア	268	33	イ	241	113	エ	271	193
ア	270	34	イ	257	114	エ	277	194
ア	272	35	イ	260	115	エ	283	195
ア	278	36	イ	261	116	エ	284	196
ア	279	37	イ	274	117	エ	286	197
ア	280	38	イ	340	118	エ	287	198
ア	281	39	イ	341	119	エ	289	199
ア	282	40	イ	342	120	エ	290	200
ア	285	41	イ	343	121	エ	291	201
ア	292	42	イ	344	122	エ	293	202
ア	294	43	イ	345	123	エ	295	203
ア	302	44	イ	346	124	エ	296	204
ア	317	45	イ	347	125	エ	297	205
ア	322	46	イ	348	126	エ	301	206
ア	325	47	イ	349	127	エ	303	207
ア	326	48	イ	350	128	エ	304	208
ア	327	49	イ	356	129	エ	305	209
ア	328	50	イ	360	130	エ	306	210
ア	329	51	イ	365	131	エ	307	211
ア	330	52	イ	366	132	エ	308	212
ア	331	53	イ	367	133	エ	309	213
ア	332	54	イ	377	134	エ	310	214
ア	333	55	イ	378	135	エ	311	215
ア	334	56	イ	379	136	エ	312	216
ア	335	57	イ	388	137	エ	313	217
ア	336	58	イ	389	138	エ	315	218
ア	337	59	イ	390	139	エ	316	219
ア	338	60	イ	391	140	エ	318	220
ア	351	61	イ	392	141	エ	319	221
ア	352	62	イ	393	142	エ	320	222
ア	353	63	イ	402	143	エ	321	223
ア	354	64	イ	415	144	エ	323	224
ア	355	65	イ	416	145	エ	324	225
ア	368	66	イ	417	146	エ	339	226
ア	369	67	イ	418	147	エ	357	227
ア	370	68	イ	419	148	エ	358	228
ア	371	69	イ	420	149	エ	359	229
ア	372	70	イ	421	150	エ	403	230
ア	373	71	イ	422	151	エ	408	231
ア	374	72	イ	423	152	エ	412	232
ア	375	73	イ	424	153	エ	426	233
ア	376	74	イ	439	154	エ	427	234
ア	380	75	ウ	204	155	エ	429	235
ア	381	76	ウ	205	156	エ	430	236
ア	382	77	ウ	211	157	エ	432	237
ア	383	78	ウ	235	158	エ	433	238
ア	384	79	ウ	262	159	エ	434	239
ア	385	80	ウ	275	160	エ	435	240
ア	386	81	ウ	276	161	エ	436	241
ア	387	82	ウ	288	162	エ	437	242
ア	395	83	ウ	298	163	エ	438	243
ア	397	84	ウ	299	164	オ	265	244
ア	398	85	ウ	300	165	オ	266	245
ア	399	86	ウ	314	166	オ	273	246
ア	400	87	ウ	361	167	オ	394	247
ア	401	88	ウ	362	168	オ	396	248
ア	409	89	ウ	363	169	オ	405	249
ア	410	90	ウ	364	170	オ	406	250
ア	411	91	ウ	404	171	オ	407	251
ア	413	92	ウ	414	172	オ	431	252

外観から判断して自動車に由来するとは考えにくいと判断された付着金属片の再確認結果

1. 確認対象：(7)金属片の差し込み側が人工的に加工されているように見えるもの（81片）
2. 確認方法：金属片の実物と、現場の写真・図面をもとに、国総研と分析会社で確認
3. 確認結果

《材料分析が必要ないと判断＝自動車に由来するものと判断したもの》

	金属片番号	金属片数
(1)金属片の特徴が車両由来と類似 (接触痕あり、破断面が粗く形状が三角等、厚さ 2.3mm 以下のうち2つ以上該当)	202,203,206,216,239,243,244,245,246,247,248,249,250,251,252,254,255,256,268,270,272,279,280,281,285,292,302,317,322,325,326,327,328,329,330,331,332,333,334,335,336,337,338,368,369,370,371,372,373,374,375,380,381,382,383,384,385,386,387,395,397,398,399,400,401,409,410,411,413,425	70
(2)金属片はないが写真等から車両由来と類似と判断 (接触痕あり、形状が三角等、厚さ 2.3mm 以下のうち2つ以上該当)	352,353	2
(3)車両付帯品と思われる (プラスチック)	253	1
(4)既に材料分析を行った結果自動車鋼板であることが判明しているもの	<u>278(12)</u> , <u>294(17)</u> , <u>354(26)</u> , <u>355(26)</u> , <u>376(32)</u>	5
合 計		78

《材料分析が必要と判断》

	金属片番号	金属片数
(a)人工的に加工されたような穴や切り取り跡がある	232,351	2
(b)特異な形状をしている	282	1
合 計		3

凡 例

※表中の四角囲み□は、第2回委員会時点において、外観等から判断して自動車に由来するものとは考えにくい理由から材料分析を既に行ったもの。()内は既分析番号。

※表中のアンダーライン は、第2回委員会時点において、全国から抽出したサンプルとして材料分析を行ったものに含まれるもの。()内は既分析番号。

(ア) - (1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(ア) 金属片有り	202	○	○	○
	203	○		○
	206	○	○	○
	216	○		○
	239	○	○	○
	243	○	○	○
	244		○	○
	245		○	○
	246		○	○
	247		○	○
	248		○	○
	249	○	○	○
	250	○		○
	251	○		○
	252		○	○
	254		○	○
	255		○	○
	256			(○)
	268	○	○	○
	270	○	○	○
	272	○	○	○
	279	○	○	○
	280	○	○	○
	281	○	○	○
	285	○	○	○
	292			○
	302	○	○	○
	317	○	○	○
	322	○	○	○
	325			○
	326			○
	327	○	○	○
	328	○		○
	329	○	○	○
	330	○	○	○
	331	○	○	○
	332	○	○	○
	333	○		(○)
	334	○		○
	335	○		○
	336	○		○
	337	○		○
	338			○
	368	○	○	○
	369	○	○	○
	370	○	○	○
371	○	○	○	
372			○	
373			○	
374	○		○	
375	○	○	○	
380	○	○	○	
381			(○)	
382	○	○	○	
383			○	
384	○		(○)	
385			(○)	
386	○		○	

(ア) - (1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(ア) 金属片有り	387		○	○
	395	○	○	○
	397	○	○	○
	398	○		(○)
	399			(○)
	400			(○)
	401	○	○	○
	409	○	○	○
	410	○	○	○
	411	○	○	○
	413	○	○	○
	425	○	○	○

(ア) - (2)

分類	番号	接触痕あり	形状 (形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(ア) 金属片無し	352	○	○	
	353	○	○	

外観から判断して自動車に由来するとは考えにくいと判断された付着金属片の再確認結果

1. 確認対象：(イ)破断面が人工的に作られたように滑らかなもの（61片）
2. 確認方法：金属片の実物と、現場の写真・図面をもとに、国総研と分析会社で確認
3. 確認結果

《材料分析が必要ないと判断＝自動車に由来するものと判断したもの》

	金属片番号	金属片数
(1)金属片の特徴が車両由来と類似 (接触痕あり、破断面が粗く形状が三角等、厚さ2.3mm以下のうち2つ以上該当)	207,208,209,219,220,221,222,223,224,225,226,227,228,229,230,231,233,234,241,257,260,261,274,340,341,342,343,344,345,346,347,348,349,350,365,366,367,377,378,379,388,389,390,416,417,418,419,420,421,422,423,424,439	53
(2)金属片はないが写真等から車両由来と類似と判断 (接触痕あり、形状が三角等、厚さ2.3mm以下のうち2つ以上該当)	356,360,391	3
(3)車両付帯品と思われる (プラスチック)	402	1
合 計		57

《車両と推測されるが確定できないもの》

金属片番号	金属片数
392,393,415	3

《材料分析が必要と判断》

	金属片番号	金属片数
(a)破断面が人工的に作られたように滑らかになっている		0
(b)特異な形状をしている	240	1
合 計		1

(イ) - (1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(イ) 金属片有り	207	○	○	○
	208	○	○	○
	209	○	○	○
	219	○	○	○
	220	○	○	○
	221	○	○	○
	222	○	○	○
	223	○		○
	224	○	○	○
	225	○	○	○
	226	○		○
	227	○	○	○
	228	○	○	○
	229	○	○	○
	230		○	○
	231			○
	233	○	○	○
	234	○	○	○
	241	○	○	○
	257	○	○	○
	260	○	○	○
	261	○	○	○
	274	○	○	○
	340	○	○	○
	341	○	○	○
	342	○	○	○
	343	○	○	○
	344	○	○	○
	345	○	○	○
	346	○	○	○
	347	○	○	○
	348	○	○	○
	349	○	○	○
	350	○	○	○
	365	○	○	○
	366	○	○	○
	367	○	○	○
	377	○	○	○
	378	○	○	○
	379	○	○	○
388	○	○	○	
389	○	○	○	
390	○	○	○	
416	○	○	○	
417	○	○	○	
418	○	○	○	
419	○	○	○	
420	○	○	○	
421		○	○	
422	○	○	○	
423	○	○	○	
424	○	○	○	
439	○	○	○	

(イ) - (2)

分類	番号	接触痕あり	形状 (形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(イ) 金属片無し	356	○	○	
	360	○	○	
	391	○	○	

外観から判断して自動車に由来するとは考えにくいと判断された付着金属片の再確認結果

1. 確認対象：(ウ)金属片の厚さが自動車用鋼板と一致しないもの（20片）
2. 確認方法：金属片の実物と、現場の写真・図面をもとに、国総研と分析会社で確認
3. 確認結果

《材料分析が必要ないと判断＝自動車に由来するものと判断したもの》

	金属片番号	金属片数
(1)厚さを再確認した結果、金属片が厚くなかった。金属片の特徴が車両由来と類似 (接触痕あり、破断面が粗く形状が三角等、厚さ2.3mm以下のうち2つ以上該当)	361,362,363,364	4
(2)金属片はないが写真等から車両由来と類似と判断 (接触痕あり、形状が三角等、厚さ2.3mm以下のうち2つ以上該当)		0
(3)車両付帯品と思われる (プラスチック)	204,211,235,262,275,288,298,314,404,414,440	11
(4)既に材料分析を行った結果車両付帯品であることが判明しているもの	<u>205(2)</u>	1
	合 計	16

《材料分析が必要と判断》

	金属片番号	金属片数
(a)自動車用鋼板よりも厚い (2.3mmを超える)	299	1
(b)鉄以外の材質であり車両付帯品とは思われない	276,300,428	3
	合 計	4

(ウ)ー(1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2.3mm以下)
(ウ) 金属片 有り	361	○		○
	362	○		○
	363	○	(○)	○
	364	○	○	○

外観から判断して自動車に由来するとは考えにくいと判断された付着金属片の再確認結果

1. 確認対象：(E)中央分離帯のある道路で継ぎ目に付着しているもの（69片）
2. 確認方法：金属片の実物と、現場の写真・図面をもとに、国総研と分析会社で確認
3. 確認結果

《材料分析が必要ないと判断＝自動車に由来するものと判断したもの》

	金属片番号	金属片数
(1)金属片の特徴が車両由来と類似 (接触痕あり、破断面が粗く形状が三角等、厚さ 2.3mm 以下のうち2つ以上該当)	201,210,264,284,290,291,296,301,306,307,308,323,357,358,359,403,427,429,438	19
(2)付着場所を確認した結果、付着の可能性ある	中央分離帯がついていない:4件 277,412,432,408	28
	継ぎ目が逆目:11件 212,213,214,215,217,218,236,242,269,436,437	
	ガードパイプ:1件 283	
	道路付属物（矢印板）に付着:1件 271	
	ポルト部:3件 295,305,318	
	終点側端部継ぎ目:3件 289,315,435	
	暫定2車・対面通行（供用中・供用実績あり）:5件 258,259,293,316,339	
(3)金属片はないが写真等から車両由来と類似と判断 (接触痕あり、形状が三角等、厚さ 2.3mm 以下のうち2つ以上該当)	237,238,303,433,434	5
(4)金属片はないが付着場所を確認した結果、付着の可能性ある	歩行者自転車用柵:1件 263	8
	ガードパイプ:6件 309,310,311,312,313,320	
	終点側端部継ぎ目:1件 321	
(5)車両付帯品と思われる (プラスチック)	286,287,324	3
(6)金属片はないが写真等から車両付帯品と思われる (ゴム)	430	1
(7)既に材料分析を行った結果自動車鋼板であることが判明しているもの	<u>267(11)</u> , <u>426(43)</u>	2
	合 計	66

《材料分析が必要と判断》

	金属片番号	金属片数
(a)特異な形状をしている	297,304,319	3
	合 計	3

(工) - (1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(工) 金属片有り	201		○	○
	210	○		○
	264	○	○	○
	284	○	○	○
	290	○		○
	291	○	○	○
	296	○	○	○
	301	○	○	○
	306	○	○	○
	307	○		○
	308	○	○	○
	323	○	○	○
	357	○		○
	358	○		○
	359	○	○	○
	403	○	○	○
	427	○	○	○
	429	○	○	○
438	○	○	○	

(工) - (3)

分類	番号	接触痕あり	形状 (形状が三角等)	厚さ (2. 3mm以下)
(工) 金属片無し	237	○	○	
	238	○	○	
	303	○	○	
	433	○	○	○
	434	○	○	○

外観から判断して自動車に由来するとは考えにくいと判断された付着金属片の再確認結果

1. 確認対象：(オ)その他、現場から特にコメントのあるもの（9片）

2. 確認方法：金属片の実物と、現場の写真・図面をもとに、国総研と分析会社で確認

3. 確認結果

《材料分析が必要ないと判断＝自動車に由来するものと判断したもの》

	金属片番号	金属片数
(1)金属片の特徴が車両由来と類似 (接触痕あり、破断面が粗く形状が三角等、厚さ 2.3mm 以下のうち2つ以上該当)	273	1
(2)既に材料分析を行った結果自動車鋼板であることが判明しているもの	<u>265(4)</u> , <u>394(29)</u> , <u>396(30)</u> , <u>405(35)</u> , <u>406(36)</u> , <u>407(37)</u> , <u>431(42)</u>	7
(3)既に材料分析を行った結果車両付帯品であることが判明しているもの	<u>266(10)</u>	1
	合 計	9

《材料分析が必要と判断》

	金属片番号	金属片数
		0
	合 計	0

(オ)ー(1)

分類	番号	接触痕あり	形状 (破断面が粗く 形状が三角等)	厚さ (2.3mm以下)
(オ) 金属片有り	273	○	○	○